

後期公開講座 (10月～3月)



お申込み・お問合せ先

江戸川大学駒木学習センター

当センターWebページ内お申込みフォームから、
またはお電話、メールにてお申込みください。
<https://www.edogawa-u.ac.jp/opencollege/>

お申込み・お問合せは
こちらから→



電話:04-7156-7715(平日9時～17時)
Mail:stcenter@edogawa-u.ac.jp

お申込みにかかる注意事項等

- ・定員に達し次第、募集は締め切りとなります。
- ・受講料のお支払いは、講座当日に受付にて現金でお支払いいただきます。
(コンビニエンスストアの振込みはございません。)
※開講後、ご本人の都合による受講取り止めの場合、お支払いいただいた費用の返金はいたしかねます。
- ・申込締切日までにお申し込み者数が一定に満たない場合、講座は中止となる場合もございます。ご了承ください。
- ・諸般の事情により講座が中止となる場合がございます。

江戸川大学へのアクセス

- ◆つくばエクスプレス線、東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」東口バスターミナルより、無料スクールバスをご利用いただけます。
- ◆スクールバスの運行予定は大学Webページでご確認ください。
<https://www.edogawa-u.ac.jp/koutuu/>
- ◆自転車でお越しの際は正門と東門付近に駐輪場があります。
キャンパス内の自転車通行は禁止されていますのでご注意ください。
- ◆お車でのご来校はご遠慮ください。



バスの運行状況はこちら

後期公開講座

101講座 インターネットと生成AIの仕組みを知る ー情報社会を生き抜く思考法ー 【全2回】 ～なぜ私たちは騙され、なぜアルゴリズムは私たちを動かすのか～

開催日時:10月15日(木) 13:00～14:30・14:40～16:10
受講料:3,000円 定員:24名 申込締切日:10月12日(月)

インターネットや生成AIは今や生活に欠かせない存在となりましたが、その仕組みを正しく理解している人は多くありません。本講座では、情報モラルとセキュリティを専門とする研究の視点から、通信やアルゴリズムの基本構造、検索結果やSNSの表示がどう決まっているのか、そして人がなぜ偽情報を信じ、拡散してしまうのかという認知の仕組みを解説します。さらに生成AIについても、対話や画像生成がどのような原理で「もっともらしい」情報を作り出すのか、ハルシネーションやディープフェイクの背景にも踏み込みます。単なる注意喚起にとどまらず、「なぜそれが起きるのか」を知ること、情報社会を主体的に生き抜くための思考力を養うことを目指す、全2回の講座です。

【講師プロフィール】

専門は情報教育、教育工学。主な研究課題は「情報モラル教育」。文部科学省「情報化の進展に伴う新たな課題に対応した指導の充実に関する調査研究委員会」委員・作業部会長、「学校における携帯電話の取扱い等に関する有識者会議」委員、児童ポルノ流通防止対策専門委員会委員、主な論文に「『3種の知識』による情報モラル指導法の開発」日本教育工学雑誌、28-2:79-88、2004」などがある。

講師 玉田和恵
江戸川大学教授
情報教育研究所長
〔専門分野〕教育工学



102講座 新・国立公園シリーズ「国立公園の文化的景観とは？」【全2回】 ～日本の自然と宗教との関係も見ながら～

【講義】 11月10日(火) 14:00～15:30

風景、風致、景観とは？ 国立公園と国定公園の違い 文化的景観とは何か 日本の宗教と自然等

【現地ツアー】 11月17日(火) 1日

今回は日光市内の二社一寺の周辺や街並みを歩き、
国立公園の文化的景観の実態やその保護について実際に見てゆきましょう。

日本の国立公園は優れた自然の風景地を守り、それを利用することが目的ですが、その保護の対象は、実は自然に限ったものではありません。日光の二社一寺を初め、出羽三山、伊勢神宮などの著名な社寺が国立公園に含まれ、その景観が保護されています。今回はこのような国立公園の文化的景観に焦点を当てて考えてゆきます。

講師 宮地信良
江戸川大学国立公園
研究所客員研究員・
ネイチャーガイド
〔専門分野〕
造園学・植物生態学



受講条件

- ①現地ツアーを含む内容となっておりますので、軽いハイキングの出来る健康な方が対象です。
- ②現地ツアーは雨天でも行います。ただし、荒天の場合は中止いたしますのでご了承ください。
- ③講義だけのご受講も可能です。(現地ツアーのみのご受講はできません)
お申込み時にお知らせください。
- ④現地ツアーは東武日光駅にて、現地集合・現地解散を予定しています。
- ⑤現地ツアーは、受講料の他に8,000円～8,500円程度の経費(バス代、昼食代、駐車場代、保険料等)と日光までの往復交通費が必要です。詳細は講義回にてご案内いたします。
- ⑥現地ツアー経費を抑えるため、最少開講人数は13名といたします。なお現地ツアー経費は参加人数により変動します。
- ⑦感染症の流行等、社会情勢により中止となる場合がございます。予めご了承ください。
- ⑧発熱等の風邪症状がある方はご参加ご遠慮願います。

受講料:3,000円 定員:20名 申込締切日:11月4日(水)

【講師プロフィール】

環境庁(現環境省)で国立公園の現地管理、野生生物課勤務等のあと中途退職し、有限会社自然計画代表取締役として、栃木県日光市で調査や自然ガイド業務を行っている。江戸川大学非常勤講師を経て、現在国立公園研究所客員研究員。技術士(環境部門)。



103講座 映画『国宝』からひもとく歌舞伎入門

開催日時:11月12日(木) 14:00～15:30

受講料:1,500円 定員:20名 申込締切日:11月9日(月)

歌舞伎をテーマにした映画『国宝』をきっかけに、その世界をやさしくひもとく入門講座です。女方や舞台を支える音楽などを手がかりに、古典芸能が長く受け継がれてきた理由を考えます。歌舞伎は難しいものと思われがちですが、役者の身体の使い方や三味線音楽の歌詞に注目すると、舞台の楽しみ方がぐっと広がります。映画『国宝』をより深く味わい、古典芸能を身近に感じるための見方・聴き方をご紹介します。歌舞伎が初めての方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

講師:重藤 暁
江戸川大学情報教育
研究所客員研究員
[専門分野] 伝統芸能教育・ICT活用教育



104講座 古典芸能の魅力を味わう ～歌舞伎と深く結びついた三味線音楽 ・常磐津の楽しい世界～

開催日時:12月10日(木) 14:00～15:30

受講料:1,500円 定員:20名 申込締切日:12月7日(月)

歌舞伎の舞台を彩る三味線音楽・常磐津の世界を、実演と体験を交えて楽しく味わう入門講座です。三味線音楽は「難しそう」と思われがちですが、歌詞をひもといたり、言葉のリズムを味わったり、三味線の音色に耳を澄ませたりすると、常磐津や歌舞伎は面白い！と思えるはずです。本講座では、三味線音楽の魅力をわかりやすく解説しながら、実際に声に出してみる体験や聴き比べも行います。初めての方にも親しみやすく、古典芸能の奥深さと面白さを身近に感じていただける講座です。

[講師プロフィール]
伝統芸能研究家。常磐津佐知太夫の名で、歌舞伎座をはじめとする歌舞伎公演に出演。歌舞伎や三味線音楽など古典芸能の魅力を伝えるため、学校やカルチャー講座での講演・実演のほか、三味線音楽の体験型教育プログラムの研究にも取り組む。共著に、歌舞伎の楽しみ方を深める入門書『知っておきたい歌舞伎 日本舞踊名曲一〇〇選』がある。

105講座 激動の2026年国際情勢を総括する 【全4回】 ～新聞とネットで読み解く勉強会スタイルで～

開催日:11月16日・30日・12月7日・14日(月) 14:00～15:30

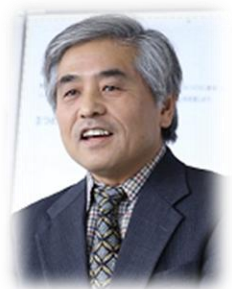
受講料:6,000円 定員:24名 申込締切日:11月10日(火)

- 第1回 11月16日 ◇トランプに中間選挙の審判下る
- 第2回 11月30日 ◇混迷深まる露ウクライナ戦争
- 第3回 12月 7日 ◇中東情勢は安定に向かうのか
- 第4回 12月14日 ◇世界の関心呼ぶ日中関係

2026年は前年末の米軍のベネズエラ攻撃に続き、米イスラエル・イラン戦争が勃発するなど世界を揺るがす事態が頻発しました。建国250年を祝った米国の中間選挙結果や中東情勢、ウクライナ情勢、日中関係など今年の出来事を総括しながら、来年の世界はどんな動きを見せるのか。資料に基づき聴講者の皆さんと一緒に探ります。

[講師プロフィール]
東京外国語大学卒業後、読売新聞入社。経済部、国際部、ソウル支局長、中国総局長(北京)、アジア総局長(バンコク)、論説委員(国際情勢およびコラム担当)を歴任。2006年から江戸川大学教授。現在、読売新聞社友、J:COMBS放送番組審議会委員長。

講師 大江志伸
江戸川大学名誉教授
読売新聞元論説委員
[専門分野]
国際関係論・マスコミ論



お申込み・お問合せ先:

江戸川大学駒木学習センター

04-7156-7715(平日9時～17時)
stcenter@edogawa-u.ac.jp



Web申込み
はこちらから

106講座 眠りのメカニズムを基礎からきちんと学ぶ【全4回】

～良い生活を築くために正しい眠りの知識を得ましょう～

開催日時:11月17日・24日(火) 13:00～14:30・14:40～16:10

受講料:6,000円 **定員:**24名 **申込締切日:**11月13日(金)

日本人は世界で最も夜更かしで寝不足の国民であると言われています。そのため、自分自身の睡眠に問題を感じ、睡眠についての知識に関心のある方も多いです。こうした「需要」に対して、睡眠についての「知識」はマスメディアからも多く提供され、睡眠に関連した飲み物や食べものや寝具や衣料まで、幅広く販売されています。しかしながら、それらの中には、睡眠の科学的エビデンスから見るとどうも怪しいものや意味があるのかないのか良く分からないモノも少なくないのが現状です。この講座では睡眠についての科学的な知見を初歩から学び、本当に意味のある睡眠・生活改善に結び付けていただきたいと思います。全4回の講座で初歩から学び睡眠についての正しい知識を基にご自分の生活をより良いものにしてください。

第1回 11月17日 ◇眠りの種類：レム睡眠とノンレム睡眠の二種類の眠りというのはウソ

第2回 11月17日 ◇金縛りは霊の仕業？アメリカでは宇宙人に誘拐される？

第3回 11月24日 ◇脳の中の時計：地球の自転と私たちの身体

第4回 11月24日 ◇良い生活のためには眠りを気にし過ぎない

〔講師プロフィール〕

睡眠を主な研究対象としています。金縛り(睡眠麻痺)に関する研究や、睡眠の発達に関する研究等を行ってきました。睡眠の背景にある生物リズムの機能を無視して睡眠をとり健康を害している人が多いです。最近は保育園で行われている不必要な昼寝の日課を改善する活動を行っています。

講師:福田一彦

江戸川大学名誉教授・
江戸川大学睡眠研究所
顧問・医学博士・日本睡眠
改善協議会理事

〔専門分野〕

睡眠学・実験心理学・
時間生物学



107講座 スマートフォンで学ぶ写真表現入門

～構図で変わる「伝わる写真」の撮り方～

開催日:11月25日(水) 14:00～15:30

受講料:1,500円 **定員:**20名

申込締切日:11月20日(金)

◆持ち物：スマートフォン

スマートフォンのカメラは年々高性能になっています。しかし、写真の印象を大きく左右するのはカメラの性能だけではありません。「何をどのように見せるか」という構図や撮り方の工夫によって、同じ被写体でも伝わり方は大きく変わります。本講座では、日の丸構図や三分割構図などの基本的な構図を学びながら、花や料理、風景など身近なものを題材に「伝わる写真」の撮り方を実践します。難しいカメラの知識は必要ありません。スマートフォンだけで、写真をもっと楽しみ、もっと魅力的に残す方法を学びます。

講師:廣田有里
江戸川大学教授



〔講師プロフィール〕

大学では情報デザインを専門とし、WebデザインやWebサイト制作、デジタルコンテンツ制作などの講義を担当しています。「情報をどのように見せれば、相手に分かりやすく伝わるのか」をテーマに、デザインや情報発信について指導しています。また、地域でのICT活用にも取り組みCode for Nagareyamaや流山グリーンフェスティバルなどの活動を通して、地域の情報化や情報発信を支援しています。

〔専門分野〕

情報デザイン・地域情報化

108講座 周りに人がいると心は変わる？社会心理学入門【全4回】

～他者がいることによって心の動きがどう変わるか～

開催日時:12月4日・11日・1月8日・15日(金) 14:00～15:30

受講料:6,000円 **定員:**20名 **申込締切日:**12月1日(火)

第1回 12月 4日 ◇社会心理学について:身内びいきはなぜ起きるのか？

第2回 12月11日 ◇差別や偏見はなぜ起きるのか？

第3回 1月 8日 ◇大人数でいると冷たい人間になる？

第4回 1月15日 ◇複数人で考えると極端な結論になる？

社会心理学は、人と人との関係性を科学的に明らかにすることを目的としています。本講座では、特に他者がいることによってもたらされる認知や感情の変化を扱います。人間は身内びいきをしやすかったり、大人数でいるときに気が大きくなったり他者に対して無関心になったりします。これは、1人でいるときと複数人であるときとで、認知や感情の在り方が変わってくるからです。また、社会でおきる差別や偏見も、同様に人を性別や国籍で判断することによって生じます。この講座では、こうした「他者がいることによる影響」について、様々な例を取り上げ、これらの現象がなぜ生じるのか、どのようにしたらその悪影響を軽減できるのかについて説明します。

〔講師プロフィール〕
筑波大学大学院人間総合科学研究科(心理専攻(修士課程)、心理学専攻(博士課程))を修了。博士(心理学)の学位を取得後に愛知県名古屋市にある東海学園大学の心理学部心理学科にて助教として勤めた後、2024年4月に江戸川大学へ着任。現在は社会心理学、感情心理学、文化心理学などの幅広い観点から複数の研究を行っている。

講師 長峯聖人
江戸川大学講師

〔専門分野〕

社会心理学・感情心理学



109講座 実験で体験する認知心理学～心と脳のはたらきを覗いてみよう～【全4回】

開催日時:12月9日・23日・1月6日・20日(水) 10:30～12:00
受講料:6,000円 **定員:**20名 **申込締切日:**12月4日(金)

講師 西村律子
江戸川大学准教授
〔専門分野〕認知心理学・睡眠心理学

第1回12月 9日◇頭のはたらきは思い通りにならない—実験で体験する「抑制機能」—

第2回12月23日◇私の記憶は本当に正しい? —実験で体験する「虚記憶」—

第3回 1月 6日◇不思議な現象を信じてしまうのはなぜ? —実験で体験する「思い込み」の心理—

第4回 1月20日◇相手の気持ちはどこまでわかる? —実験で体験する「表情認知」—

認知心理学の実験を実際に体験しながら、人の心の働きについて学ぶ講座です。注意や記憶、思い込み、感情認知をテーマに、ストループ課題や虚記憶実験などの心理学実験やデモンストレーションを通して、自分の心の不思議や認知の特徴を楽しく体験し、そのしくみをわかりやすく解説します。※認知症をテーマとする講座ではありません。あらかじめご了承ください。

〔講師プロフィール〕愛知淑徳大学で博士号を取得後、日本学術振興会特別研究員、科学技術振興機構ERATO岡ノ谷情動情報プロジェクト研究員を経て、2017年より江戸川大学に着任。また、同年より江戸川大学睡眠研究所併任研究員となる。睡眠不足時の認知機能の変化や、他者の存在が認知機能に与える影響などを研究している。



110講座 ご当地屋台村の魅力向上の取り組み ～TV番組出演の屋台村案内人と、屋台村の取り組み紹介～

開催日時:12月9日(水) 14:00～15:30
受講料:1,500円 **定員:**20名 **申込締切日:**12月4日(金)

講師:上西秀和
江戸川大学講師・情報教育研究所研究員
〔専門分野〕教育システム情報学・教育学

某TV番組にて「ご当地屋台村」を紹介した講師が、屋台村の現状と課題、屋台村自身を盛り上げるための取り組みを紹介します。屋台村が市街地活性化に大きな貢献をする一方で、屋台村自身も活性化に取り組んでいかなければなりません。イベントの企画や流し芸などの事例を紹介しながら、屋台村の魅力向上を向上するために何を行うべきかについて議論したいと思います。

〔講師プロフィール〕東京工業大学(現・東京科学大学)・大学院で情報工学、教育学を学んだのち、栃木県内の医科大に勤務。'23年度より江戸川大学勤務。教育学研究や情報システムの運用に携わる中、栃木県宇都宮市在住時に屋台村の魅力に出会い、屋台村発祥の地・帯広や講師の出身地・鹿児島など全国の屋台村までも訪問するように。'25年11月、TBS系「マツコの知らない世界 ご当地屋台村SP」ゲスト出演。



111講座 英語で詩を読む ～W.H.オーデンの詩・その2～【全2回】

開催日時:12月17日(木) 13:00～14:30 14:40～16:10
受講料:3,000円 **定員:**20名 **申込締切日:**12月14日(月)

講師:鈴木哲平
江戸川大学教授
〔専門分野〕
英文学・フランス文学

第1回 13:00～14:30 ◇オーデンの詩(1930・40年代)

第2回 14:40～16:10 ◇オーデンの詩(1950年代以降)

◆持ち物:辞書(スマートフォン、電子辞書、紙の辞書など)なくても構いません。

英語の詩を音読し、意味を考えながら想像力を働かせてみませんか。

今学期は、前学期に引き続き、20世紀で最も重要な詩人の一人とされるW.H.オーデン(1907-1973)を取り上げてみたいと思います。今学期は、詩人の人生を掘り下げながら、これを詩と結び付けつつ、詩人オーデンの全体像を見通すことを試みてみたいと考えています。

(英語の知識はごく基本的なもので十分です。また、今学期からのご参加も歓迎です。)



112講座 フランス文学を読む ～サン＝テグジュペリ『人間の大地』～【全2回】

開催日時:1月14日(木) 13:00～14:30 14:40～16:10
受講料:3,000円 **定員:**20名 **申込締切日:**1月11日(月)

〔講師プロフィール〕
東京大学大学院でフランス文学・英文学を専攻。博士(文学)を取得。スイス・フランス・イギリスの大学院に留学。2016年に江戸川大学に着任。訳書に『新訳サミュエル・ベケット全集』(白水社、共訳)など。

第1回 13:00～14:30 ◇序文・1～4章

第2回 14:40～16:10 ◇5～8章

『星の王子さま』で有名なサン＝テグジュペリの『人間の大地』(1939)を読みます。童話『星の王子さま』と異なり、この作品では作家サン＝テグジュペリの直接的な言葉に触れることができます。飛行士・サン＝テグジュペリを知るのに恰好の題材であると同時に、『星の王子さま』を読み解くヒントも与えてくれます。『夜間飛行・人間の大地』(岩波文庫・野崎歓訳)を使用します。また、ほんの少しだけ英語版・フランス語版にも触れたいと思います。

113講座 市民アントレプレナー講座 【全6回】

～起業から新規事業開発まで新たなビジネスの創造力を養う～

開催日時:1月7日(木)・14日(木)・21日(木)・28日(木)・2月4日(木)・12日(金)
15:00～16:30 受講料:9,000円 定員:20名 申込締切日: 1月5日(火)

- 第1回 1月 7日 ◇なぜいま、アントレプレナーが求められるのか？新事業創出の必要性とは
- 第2回 1月14日 ◇事業の構造＝ビジネスモデルを知る
- 第3回 1月21日 ◇顧客を決め、顧客を知ることがスタートライン
- 第4回 1月28日 ◇顧客に求められる価値の作り方
- 第5回 2月 4日 ◇ビジネスアイデアを事業として構造化する
- 第6回 2月12日 ◇ビジネスプラン＝事業計画を作成する

現代のビジネスにおいては、新しい価値の創出＝新事業の創出が強く求められています。
この講座ではビジネスモデルの概念を利用し、新しいビジネスの創出方法を体系的に学びます。難しい知識は不要。チャレンジ意欲のある方を広く歓迎します。

〔講師プロフィール〕

社会学部経営社会学科にて経営戦略・マーケティングならびにアントレプレナー、起業論を担当。大日本印刷（DNP）で新規事業開発を20年以上担当し2006年から社内ベンチャーでオンラインメディア事業を設立し経営。2014年3月に、早稲田大学ビジネススクールを卒業。専門は経営戦略・マーケティング戦略で、担当教授は元ボストンコンサルティンググループ代表の内田和成教授に師事。
2024年4月より江戸川大学 社会学部経営社会学科に所属

講師 山田 洋介

江戸川大学教授
〔専門分野〕
経営戦略・
マーケティング



114講座 本当に東京23区に田んぼはあるのか？

～自然は大好き、雑草は大嫌いという謎深き日本人、日本文化を考える～

開催日:1月12日(火) 14:00～15:30
受講料:1,500円 定員:24名 申込締切日:1月7日(木)

都市にもっと緑を！は常識だ。でも他方で都心に田んぼがあったら変だし、雑草まみれの“汚屋敷”は“都市の大自然”なのに大ヒンシュクだ。かと思うと都心ど真ん中の皇居では「雑草などという名の植物は無い」という天皇が田植え、稲刈りしているのだから「あ、そう」どころではない凄い謎だ。遺伝子コピーの染井吉野やら盆栽という奇形植物を作出した園芸大国日本は、実は植物虐待大国か？植物への愛と憎しみを通して日本人という謎を探求しよう。

講師 斗鬼 正一

江戸川大学名誉教授

〔専門分野〕
文化人類学・
民俗学・文化史



115講座 なぜ日本人は桜の下でどんちゃん騒ぎをするのか？

～桜というコスモス、花見というカオス～

開催日:1月19日(火) 14:00～15:30
受講料:1,500円 定員:24名 申込締切日:1月15日(金)

花見といえば上野、墨堤、飛鳥山。女装の男が闊歩して、飲めや歌えのどんちゃん騒ぎ、喧嘩、狼藉、ゴミの山。封建制がんじがらめの江戸庶民から現代官仕えサラリーマンまで、こんなカオスが大人気なのだが、元祖仕掛け人はあの暴れん坊将軍だ。つまり花見は善政どころか体制護持の官製ガス抜き装置だし、桜もまた「見事散りましょ国のため」と大日本帝国というコスモスの護持に利用されてきた。そんな桜と花見から日本人という謎が解けてくる。

〔講師プロフィール〕

メディアでおなじみの“鬼先生”。「楽しくなければ学問じゃない」をモットーに、「チコちゃんに叱られる!」「世界一受けたい授業」などで文化人類学の楽しさを伝え、「NHKニュース」などでエスカレーター乗り方改革を訴える唯一のエスカレーター文化研究者。江戸川大学名誉教授。元明治大学大学院・文学部兼任講師。

301講座 ちば子ども大学連携講座 子どもSDGs体験教室(無料)3月

小学生向けの講座を春休みに実施予定です。SDGsについて、江戸川大学で楽しく学ぼう！
詳細は、当センターのWebページに2月頃に公開予定です。



江戸川大学
オープンカレッジ

江戸川大学駒木学習センター

〒270-0198 千葉県流山市駒木474
Tel:04-7156-7715
Mail:stcenter@edogawa-u.ac.jp